

平成30年3月期 第1四半期決算と
地方創生に向けた取組みについて

平成29年8月

西京銀行

●業績ハイライト（単体）	……	2
●資金の地域内循環	……	3
●有価証券運用の状況	……	4
●不良債権の状況	……	5
●地方創生に向けた取組み状況 （金融仲介機能のベンチマークについて）	……	6~12

業績ハイライト（単体）

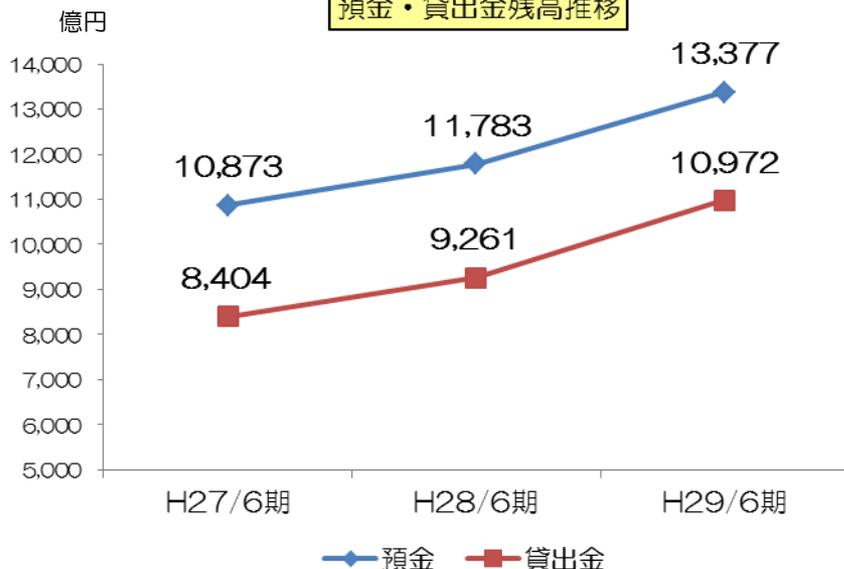


わが国の経済は、有効求人倍率は43年ぶりの高水準を記録、多業種で企業の売上高が増加し、経常利益は過去最高水準で推移する等、景気は緩やかに回復をしております。当行の経営基盤地域である山口県においても個人消費は底堅さを増し、企業の生産は堅調に推移しております。

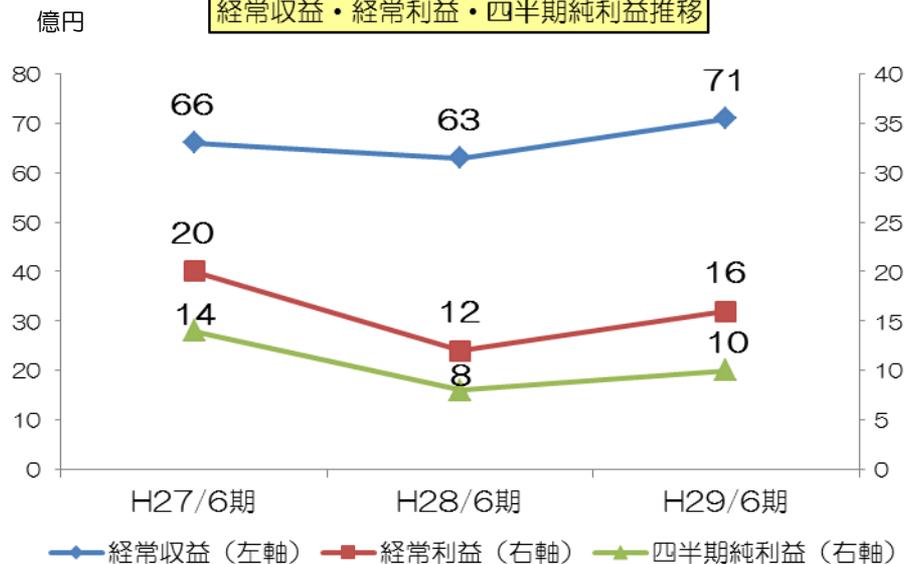
こうした中、当行では4月より新しい中期経営計画をスタートさせ“一人でも多くのお客さまに「さすが西京」のサービスを”のスローガンのもと施策に積極的に取組み、平成30年3月期 第1四半期決算は、以下のとおりとなりました。

- 預金残高は、山口県・広島県・福岡県の地元を中心に前年同期比1,594億円増加し、1兆3,377億円（増加率13.5%）となりました。貸出金残高は、前年同期比1,710億円増加し、1兆9,972億円（増加率18.4%）となりました。
- 経常収益は、前年同期比8億37百万円増加し71億39百万円、経常利益は、前年同期比3億55百万円増加し16億6百万円となりました。また、四半期純利益も、前年同期比1億47百万円増加し10億13百万円となり**増収増益の好決算**を迎えることができました。

預金・貸出金残高推移

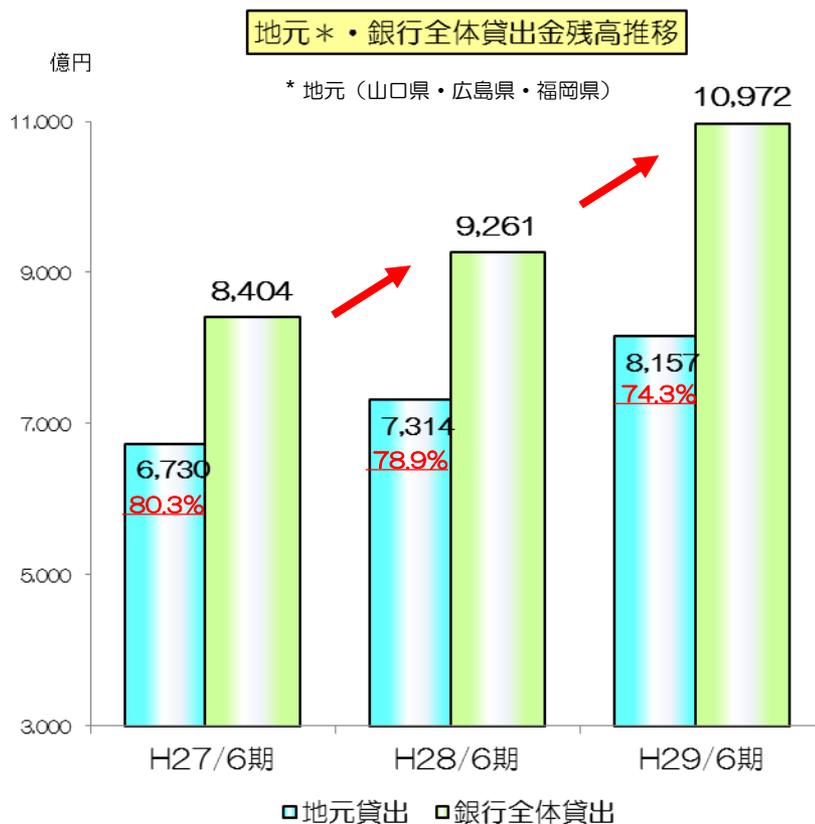
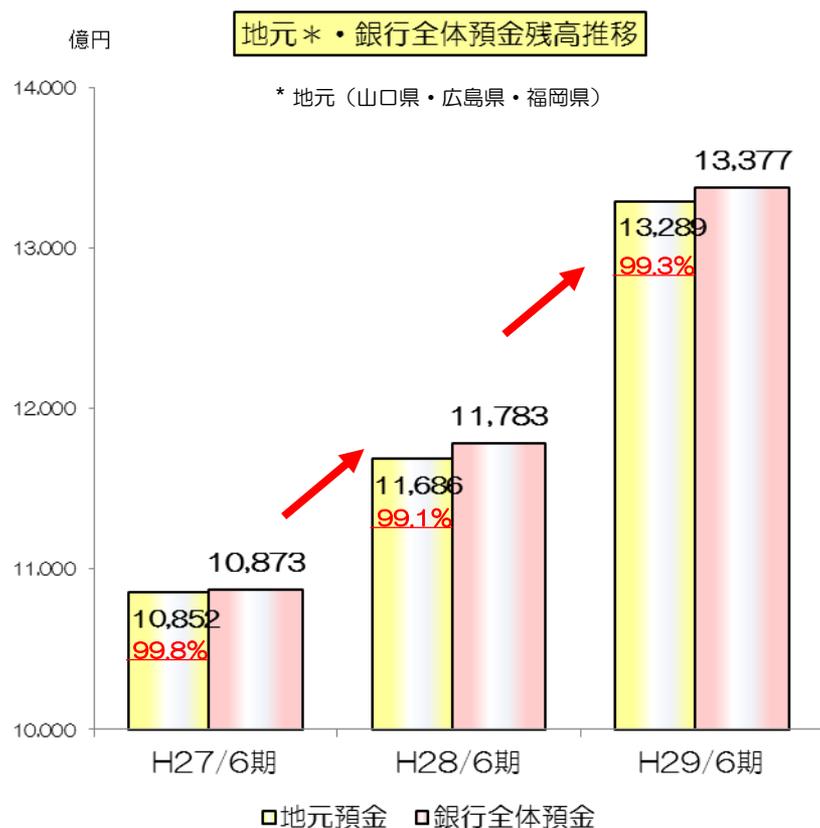


経常収益・経常利益・四半期純利益推移



資金の地域内循環

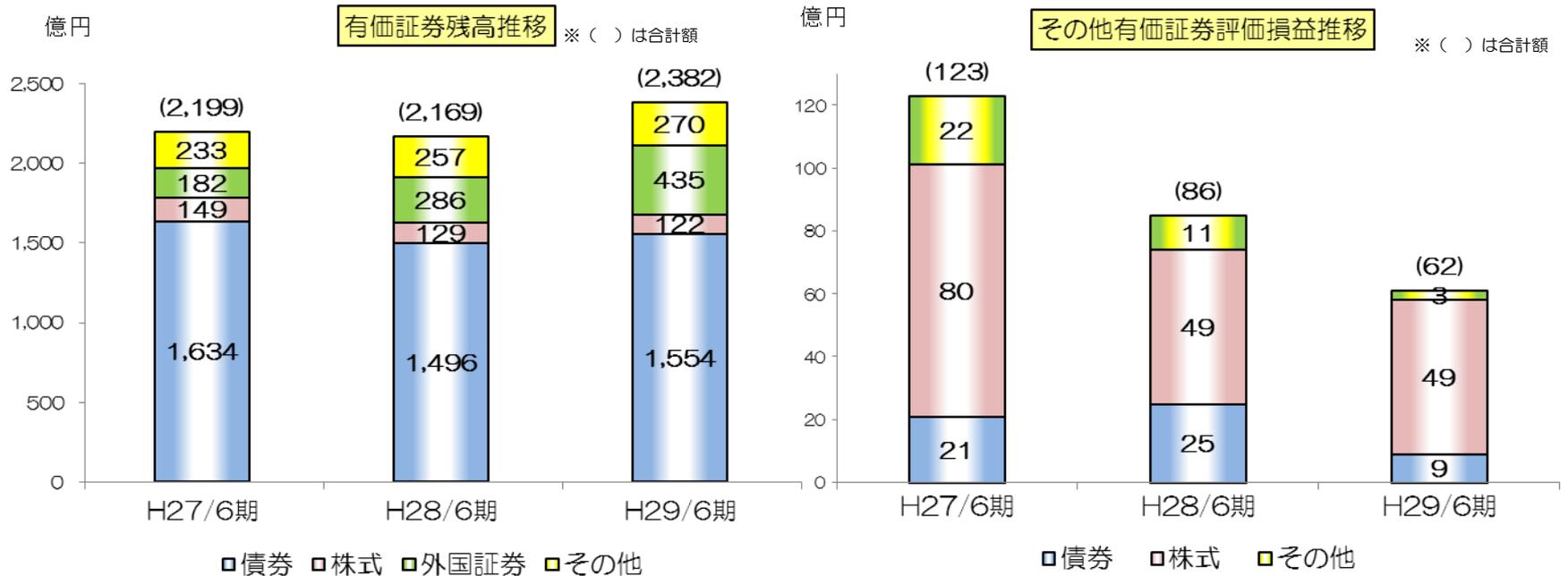
- ◆ 当行では、地域の皆さまからお預りした大切な預金を、資金を必要とされる地域の事業者さまや個人のお客さまに、借入金としてお使い頂く『資金の地域内循環』を進めています。
- ◆ 地元（山口県・広島県・福岡県）の預金残高は、前年同期比1,602億円増加し1兆3,289億円、貸出金残高は前年同期比842億円増加し8,157億円となりました。今後も地元を中心に積極的な地域内循環を進める方針です。



有価証券運用の状況

- ◆ 有価証券運用は、引き続き債券を中心に安全性を重視した運用を行う一方、金利リスクを管理するためデュレーションの短期化に努めた結果、修正デュレーション*は、3.74年となり依然低い水準を維持しています。
- ◆ その他有価証券評価益は、一部持ち合い解消等による実現益で減少いたしましたが、引き続き、高い水準を維持しています。

*修正デュレーションとは、債券に投資した資金の平均回収期間を債券の利回りで除した期間を表し、金利が変動した場合に債券価格がどの程度変化するかを示すリスク管理上の指標です。



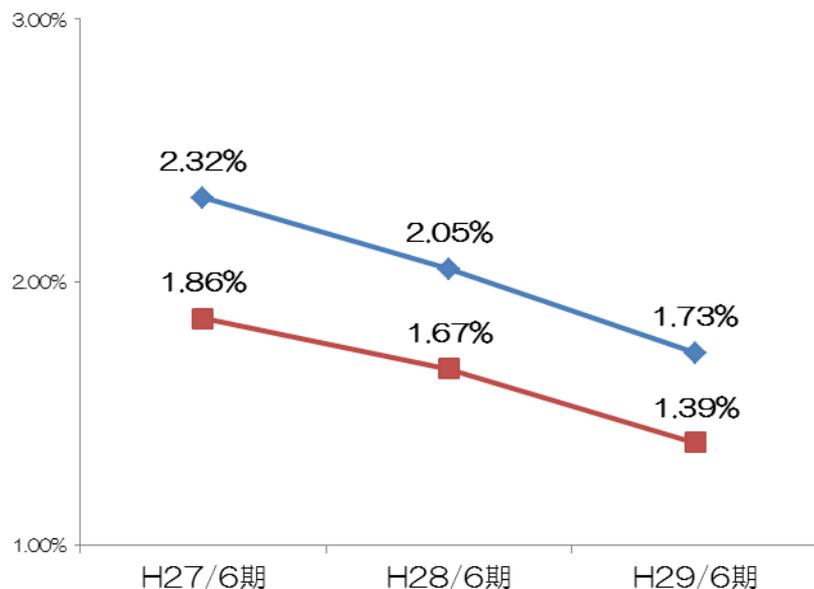
▶ その他有価証券（国内債券）修正デュレーション推移

H27/6期	H28/6期	H29/6期	H28/6期比
4.01年	3.25年	3.74年	+0.49年

不良債権の状況

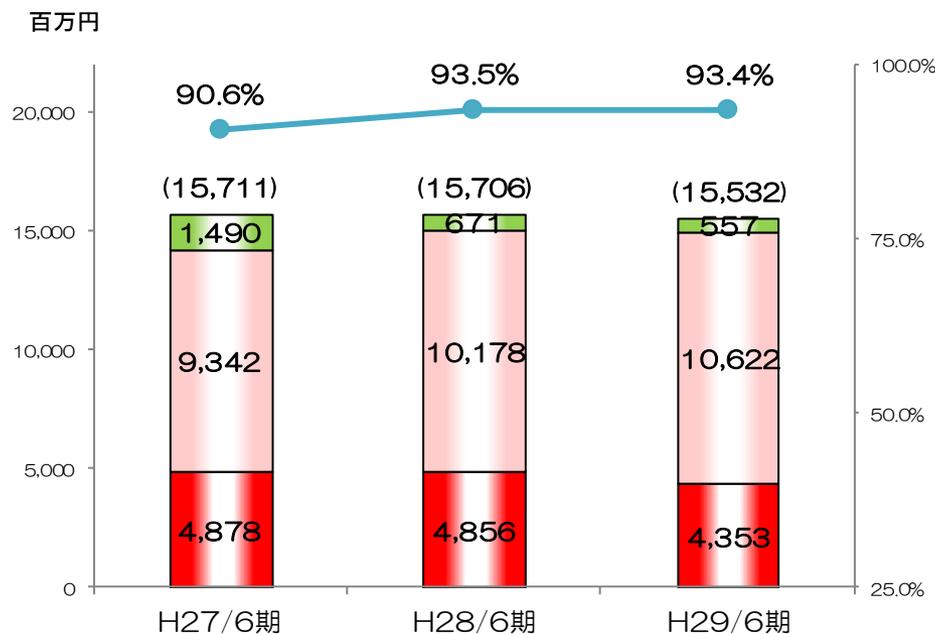
- ◆ 金融再生法基準での開示債権比率は、前年同期比0.28ポイント減少し、1.39%となりました。また、部分直接償却実施前においては、前年同期比0.32ポイント減少し、1.73%となりました。
- ◆ 開示債権は、前年同期比1億74百万円減少し、155億32百万円となりました。厳格な資産査定と将来に備えた予防的な貸倒引当金等の実施により、開示債権に対するカバー率は、0.1ポイント減少の93.4%となり引き続き高水準を保っています。

開示債権比率推移



部直償却前開示債権比率 (Blue line) 開示債権比率 (Red line)

金融再生法開示債権推移



破産更生債権等 (Red bar) 危険債権 (Pink bar) 要管理債権 (Green bar) カバー率 (Blue line)

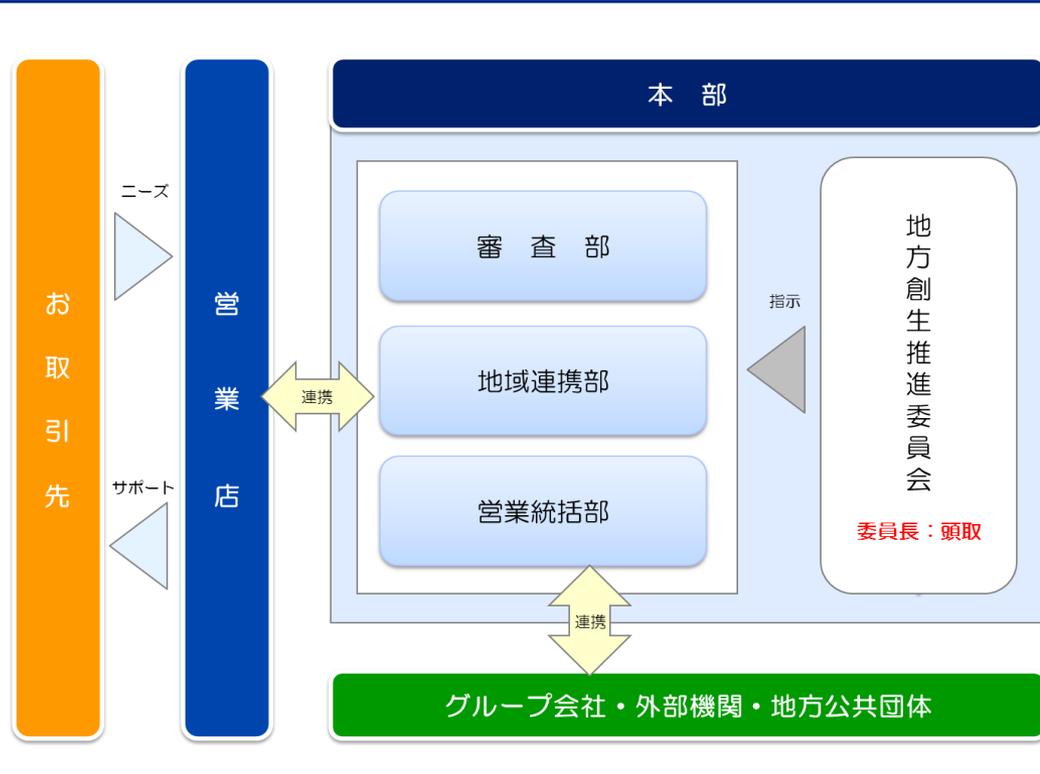
地方創生に向けた取組み (金融仲介機能のベンチマークについて)

- ◆ 金融庁が公表した「金融仲介機能のベンチマーク」のうち、当行が積極的に推進を図っていく取組みを開示しており、該当のものには、 と表示しております。

(1) 『実のある地方創生活動』 へ向けた取り組み

- ◆ 当行では、頭取を司令塔とした「地方創生推進委員会」のもと、営業店と本部が連携し、事業性評価に基づき、お客さまの売上高向上等につながるコンサルティング活動に取り組んでおります。
- ◆ 地域の事業者さまに、よりきめ細かい経営サポートが実施できるよう体制を整備いたしました。

地方創生推進体制図（平成29年4月～）



全取引先数と地域の取引数の推移

ベンチマーク

- ・ 地域銀行として、きめ細かいフォローを実施した結果、全取引先数、地域の取引先数ともに増加をしています。

▶ 全取引先数

平成29年6月末	前年同期比
16,862先	+12.2%

▶ 地域（山口県）の取引先数

平成29年6月末	前年同期比
11,183先	+8.2%

(2) 【事例紹介】 『実のある地方創生活動』 へ向けた取組み

地域連携部_アジアビジネスサポート室

◆ ラオス視察（6月10日～14日）

- 事業者さまと役員、支店長が年2回アジア圏を中心に海外視察を実施
- お客さまの販路拡大、海外展開のサポート
- ビジネスマッチング機会の創出



営業統括部_キャラバン隊

◆ 県内全ブロックに新規開拓部隊を展開

- 中小零細事業者さまの訪問を重ね、資金需要などのニーズを喚起、ご要望に応えるコンサルティングを実施
- 初の女性隊員配置、女性活躍の機会を拡大



(3) 事業者さま向けコンサルティングサービスの強化

- ◆ 事業者さまの売上高の向上、経営課題の解決に向けた取組みを強化・促進させていくため、積極的なソリューションサービスの提供を実施し、専門知識を活かした「実のあるご提案」を行います。

ソリューションサービスの提供

カテゴリー	内容
ビジネスマッチング	M&A
	販路開拓サポート
ファイナンス	クラウドファンディングの活用
	地方創生に資するファンドの活用
補助金・助成金	計画書作成・申請サポート・専門家との連携

成長分野・ニーズの高い分野への対応強化

カテゴリー	内容	担当部署
医療・介護ビジネスサポート	開設・運営・医療法人承継	メディカルサポート室
	制度改定等最新情報の提供	
事業承継サポート	経営権・後継者問題	事業承継サポートデスク
	自社株式・財産承継対策	
海外ビジネスサポート	海外進出（投資・輸出入）	アジアビジネスサポート室
	海外人材の活用	

本業サポート



(4) 事業性評価に基づく融資等、担保・保証に依存しない融資の取組み

◆ 当行では、「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨を踏まえ、事業性評価に基づく、個人保証や不動産担保に依存しない融資の推進に取り組んでおります。

担保・保証に依存しない融資の対応状況

ベンチ
マーク

(平成29年6月末)

▶ 地元中小企業と信先のうち、無担保融資の割合

無担保融資先数 (%)	無担保融資残高 (%)
78.5%	47.5%

▶ 地元中小企業と信先のうち、
根抵当権を設定していないと信先の割合

根抵当権未設定割合 (%)
79.8%

▶ 中小企業向け融資のうち、信用保証協会保証付き
融資額の割合、100%保証付き融資額の割合

信用保証協会保証の 融資残高 (%)	100%保証付き 融資残高 (%)
15.8%	4.4%

経営者保証に関するガイドラインの対応状況

ベンチ
マーク

経営者ガイドラインとは、

中小企業経営者等の個人保証における合理的な保証契約の在り方を示すとともに、主たる債務の整理局面における保証債務の整理を公正かつ迅速に行うための準則を定めたものです。

(平成29年4月～6月)

	実績
新規融資に占める経営者保証に 依存しない融資の割合	55.7%
- 新規で融資した件数	1,670件
- 新規に無保証で融資した件数	931件
既存保証契約を解除・変更（減額）した 件数	35件
保証債務整理の成立件数	0件

(5) 地域ビジネス、地域教育、地域スポーツ・文化の3つの観点による地域の面的再生

地域ビジネス

～産学公金連携による新たな地域ビジネスの創造を目指す～

◆ 課題解決型インターンシップの開催（5月20日）

- － 課題：企業訪問と県内観光ツアー
「若旅inやまぐち」の企画制作
- － 開催：全6回（5月20日～7月22日）
- － 参加：28名
山口大学5名、県立大学4名、徳山大学19名



地域の金融教育

～次世代教育に積極的に取り組む～

◆ 行員向けサタデーカレッジ（休日勉強会）の開催

- － テーマ①：オペレーティングリース業務について（5月1日、2日）
テーマ②：中小企業における事業承継リスクとサポート事例（5月20日）
- － 外部講師による課題解決法等、実例に沿った講義
- － 行員のスキルアップ、お客さまの事業サポートの強化

(5) 地域ビジネス、地域教育、地域スポーツ・文化の3つの観点による地域の面的再生

地域スポーツ・文化振興 ～スポーツ・文化を通じて地域の活性化に貢献する～

◆ ACT SAIKYO 『日本ユニシス』親善マッチの開催（6月3日）

- ー リオ五輪メダリストを招聘、地域の小中学生1,500名と練習会・交流会
- ー 地元のイベント会社が企画・運営、ミニライブ、地元の飲食店も多数ブースを出展

